五木東小

第22号

学校便り

文責

生田　文明

読書の秋

本校では、十一月十日～二十一日までの期間を読書旬間とし、本に親しむ取組を行いました。

まず、読書意欲を高めるために、十三日は、図書委員会による寸劇「図書館の使い方」・絵本の読み聞かせ・本の題名当てクイズ、そして百冊読破した児童へ、心の栄養を蓄えたとして読書賞を授与しました。たくさんの趣向を凝らした読書委員会の発表に会場は大盛り上がり。子どもたちの読書意欲はぐんと高まったようです。

次に、村教育委員会主催の読書の楽しみを広げる「標語」「キャッチフレーズ」「私のすすめる本」に全児童が応募することにしました。作品づくりは、朝学習のテーマ作文・ペアートークの時間を利用しました。「私のすすめる本」については、応募するだけでなく、給食の時間に自分がおすすめの本をみんなに示しながら紹介してもらっているところです。感動したところや興味をもったところなど、一人一人がおすすめの本へのを思いを込めて発表しています。

また、この旬間中は、全校読書と読み聞かせを集中して行いました。保護者・地域の皆さんのご協力のもと実施した読み聞かせでは、上手な語りに聴き入り、絵本の世界を楽しむことができました。ご協力いただいた髙田さん・大岩さん・早田さん・辻さん、本の選択・読み聞かせの練習等々、準備も大変だったかと思いますがとうございました。

さらに、旬間の途中にメインイベントとして、図書館の夜間開放を二回行いました。幼児から大人まで延べ七十七人の参加がありました。「おもちゃのちゃちゃちゃちゃちゃ」のブラックシアターでは、登場する人物や道具を使い、子どもたちが即興で、お話しを作り発表しました。秋の夜長、親子で、そして友だちと、とても楽しいひとときを過ごすことができたようです。






緑の少年団交流集会

十五日、あさぎり町森園カントリーパークで、人吉球磨地区緑の少年団交流集会が行われました。本校から三年生以上、十三人の子どもたちが参加しました。

開会行事の後、記念植樹があり、団長の髙田君が代表でコブシの苗木を植えました。次に全員で、用意されたたくさんの苗木を植え、午前中の活動を終えました。

午後からは木工教室が開かれ、二つのグループに分かれて移動式本立てとルームプレート づくりを行いました。子どもたちは、他の学校の児童と交流しながら、製作を進めていきました。

天候にも恵まれ、木の温もりを感じることができた清々しい一日となりました。

緑の少年団交流集会への子どもたちの参加は、年々多くなってきています。子どもたちが自然に親しもうとする意識が高まってきたからではないかと思います。

今後も本校の緑の少年団活動が、上級生から下級生へと受け継がれていくことを切望します。







もういいかい 火を消すまでは まあだだよ

～秋の火災予防運動～

十二日、秋の火災予防運動の一環として、火災避難訓練と消火訓練を行いました。

火災発生放送から全校児童が避難終了するまで、なんと一分三十秒。しかも、「押さない」「駆けない」「喋らない」「戻らない」をきちんと守り避難することができました。

また今回は、消火器を実際に使って消火訓練も行いました。消火器の仕組みや取扱いを学習した後、燃えさかる火を目の前に、火の怖さを体感しながら見事に消火することができました。

各家庭でも、お家が火事にならないためにどうすべきか。もし、火事になったら、どうしたよいか。ぜひ、親子でご確認ください。

